



国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 今野 文明 幹事 北村 悠介
例会場 京成ホテル ミラマーレ
〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1
TEL 043-222-2111
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 〒260-0001 千葉市中央区都町1-2-3
TEL 090-3484-2790
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

いよいよ 6 月中盤、本年度もあと 1 ヶ月を切り例会も残すところ本日を入れあと 3 回となりました。

好評だったので、海の向こうから毎日の様に「夢の続き」を見せてくれている「大谷翔平選手」の前の続き第二弾を話したいと思います。大谷選手のおもしろい話しは沢山ありますので、シンシナティ・レッズのエリー・デラクルーズ選手 24 歳と大谷選手の「逸話」を話したいと思います。

この選手は一昨年大谷選手が史上初の 50&50 を記録した時に、67 盗塁で盗塁王に輝き昨年のオフ、レッズが史上最高の再契約のオファー 10 年 395 億円を出し誰もが一発サインと思っていましたが、保留しました。メディアは FA になって多くの大金を得る「金の亡者」だ、レッズが貧しいドミニカ共和国の選手の家族、親戚、そして故郷の町全体を永遠に貧困から救う身代金を蹴った「強欲な恩知らず」だと言いました。しかし彼は純粋にお金より子供の頃からの憧れていた大谷選手と同じチームと一緒に野球がしたかったようです。FA になるのは、2029 年です。

アメリカメジャーリーガーの世界は全てビジネスでお金が全て、多くのギャラで契約した者がトップであるという考え方でした。しかし今は世界の最高峰、アメリカのトップ選手メジャーリーガーの中で、お金よりもこの人の隣で野球がしたいという「翔平グラビティ」「大谷の重力」という言葉が有るということです。今では、多くのメジャーのトップ選手が大谷選手と話がしたくて日本語を勉強して「大谷から直接、サインを貰うのだ」と言っています。デラクルーズ選手の国、ドミニカ共和国はさとうきびの栽培が主の貧しい国です。お母さんは、さとうきび畑で働き、9 人の子供達を育てました。まともな野球道具も無い中、野球を続けました。野球の知らないお母さんは、ただ「諦めるな」としか言いませんでした。アメリカのマイナーリーグのトライアウトに何回も挑戦しましたが、ドミニカ共和国出身というだけで落とされ続けました。その頃に大谷選手を知り、会ってみたいと野球を諦めませんでした。その頃から、オリンピックにも申し出たら、どの競技でも金メダルだろうと言われていました。今では、メジャーリーガー屈指の身体能力と言われていました。その後、デラクルーズ選手はメジャーリーガーへ昇格し、大谷選手との対戦が実現しました。

試合中のことです。デラクルーズ選手の守備はショートなので、大谷選手が二塁打を打ってくれないかと願っていました。すると運良く、大谷選手が二塁打を打ちました。時が止まった様に、デラクルーズ選手は大谷選手の所に来て勉強した日本語で「腕に触らせてください」と言い、ツンツンと触りました。大谷選手が「何故触るんだい」と聞いたら「本当に人間か確かめる。貴方はユニコーンではないか」と言ったら、大谷選手が笑顔で「貴方のプレーの方が人間離れしているよ」と言ってくれたとインタビューで応えていました。この微笑ましい光景は、塁上で「ユニコーンと野獣」が戯れていると全米で放送されました。

こんな話を気にしながら大谷選手を観ると、野球が楽しくなるかも知れません。



■ 四つのテスト / 海寶勘一 会員

「言行はこれに照らしてから」
真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなの為になるかどうか



■ お客様

・なし

■ 幹事報告

・なし

■ 委員会報告

・なし

■ 一年を顧みて 親睦活動委員長 依田和孝

皆様、今年度一年間、親睦活動委員会の活動にご理解と多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。当委員会の年度末終了報告をさせていただきます。

1. 委員メンバーのご紹介

まず、今年度行動を共にしていただきました、委員会メンバーをご報告いたします。



委員長	依田 和孝	兼任委員	佐藤 善一	委員	菅野 友博
副委員長	長坂 圭将	兼任委員	山田 剛	委員	坂本 政和
副委員長	遠藤あけみ	委員	浅野 公夫	委員	斎藤さん
副委員長	稲葉 壮一朗	委員	田中 和貴		
兼任委員	真野 匡章	委員	小池 博子		

以上、新入会員の皆様も多い中で、本年度の会長方針である「～感謝 50 周年～歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦」を念頭に置き、各事業に邁進してまいりました。

強いて言えば、副委員長が定まらず、その分委員の皆様、特に銀行の支店長の皆様と新入会員の皆様に奮闘して頂いた一年でした

2. 各事業の実施報告

計画書に基づき進めてまいりました主要事業の実施結果をご報告いたします。

①毎例会のルーティンとして例会と各種事業の受付集金及び配布物の管理と整理を遠藤あけみ副委員長を中心に委員の皆様全身体制で臨んで頂きました。

②国際奉仕委員会と50周年関連委員会との連携

本年度は創立 50 周年の節目であり、周年行事と国際奉仕委員会とタイアップした記念行事の企画・運営に特に注力いたしました。計画書に明記されていない部分として、50 周年記念式典前日に開催したウェルカムパーティー、および式典当日における小旅行の連携活動。姉妹クラブからの来訪者の皆様を温かくお迎えし、非常に密度の高い、心に残る親睦と文化交流の時間を共有することができました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

③納涼家族例会と忘年家族例会の企画及び実施

特に忘年例会は、50周年行事のコンサートの打ち上げを兼ねて同日開催となり、コンサートの裏方で委員長の私が抜けられない中、副委員長以下親睦活動委員の皆様が率先して忘年例会の準備に参加頂き大変助かりました。

今後もコンサートの予定はあるかと思いますが、忘年例会は別日での開催が望ましいかと思います。

④親睦旅行 兼 パートナー例会

予算の関係もあり、日帰り旅行且つ親睦旅行とパートナー例会を同日開催と致しました。

行先は豊洲市場、千客万来、江戸東京博物館、最後はディズニーホテルミラコスタにおいて宴会と、素敵な生演奏と歌声、美酒に酔われたのではないのでしょうか。

ホテルミラコスタにおける宴会は私自身初めての体験ではありましたが、事前対応のほとんどを事務局に助けて頂き、ディズニーグッズの割引購入や催し物まで全面バックアップのもと有終の美を飾れました。

以上をもちまして、親睦活動委員会の2025-26年度終了報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

■ 一年を顧みて 職業奉仕委員長 宮川忠士

皆さんこんにちは。今年度今野会長・北村幹事より職業奉仕委員長を仰せつかりました、宮川です。副委員長に友田会員、委員に西川、本橋、小松、浅野、田中会員で活動いたしました。

特に今年度今野会長は50周年に向けてクラブの『歴史』と『浪漫』そして未来への挑戦という基本理念を忘れず目標設定し 50 周年事業を大成功に収めたと思います。

『ロータリー活動の原点』である職業を通じて奉仕の理想を目標に会長幹事執行部又全会員の協力を得てクラブ発展の為尽くすように努力致しました。

活動計画にあります以下4つの件に関する内容は



- ①ロータリアンの意識向上の為4つのテストの唱和
- ②ロータリーの目的の周知の為会員及び地区委員会の卓話
- ③専門知識を生かしたプロとしての会員の卓話
- ④各委員会と連携し相互協力する

反省として特に50周年が無事にということが先にありましてクラブ内行事としてはあまり進展もなく終了いたしますが、次年度に期待して終わらせて頂きます。1年間ありがとうございました。

■ 一年を顧みて 社会奉仕委員長 前野拓郎

今年度、社会奉仕委員長を務めました前野です。副委員長に遠藤平・佐藤両会員、委員に花嶋会員、川城会員、友田会員、依田会員の7名で活動してまいりました。

活動内容は、11月・5月のふれあい花壇、8月早朝6時からの雑草除去。そしていのちの電話チャリティーコンサートの会員の皆さまへのチケット販売と、毎年恒例の？ルーティーン活動で終わりそうです。…、とはいえ今年度は委員長でしたのでふれあい花壇も稲毛駅東口の花壇に行くだけではなく、事前に花見川・稲毛土木事務所へ伺い、日程の確認雑草除去時の指定袋の受け取り、友田会員の花苗手配、森川さんの千葉市への申請、依田会員と稲毛海浜公園に千葉市花苗を貰いに行き、佐藤会員の協力でポンプ車、作業備品をお借りし、花壇の植え替え、土木事務所へ雑草袋回収のお願いで終了…、と皆さんのお力添えで成り立っています。今年度もまもなく終わりますが社会奉仕委員会に携わる事で、色々な経験が出来てとても良かった、と感じております。一年間ありがとうございました。



■ 一年を顧みて 青少年奉仕委員長 長坂圭将

青少年奉仕委員会では、本年度、千葉商業高校インターアクトクラブへの支援活動をはじめ、創立50周年記念事業「ジョイントコンサート」の企画運営に取り組んでまいりました。インターアクト活動では、ふれあい花壇活動へ参加いただいた生徒の皆さんへボランティア証明書をお渡しし、地域奉仕活動への理解と参加意識の向上につなげることができました。

また、ジョイントコンサートでは、小学生から高校生、一般団体まで総勢170名を超える出演者が一堂に会し、音楽を通じた交流と地域貢献を実現することができました。本事業は地区より表彰をいただくなど高い評価を受け、青少年奉仕活動の新たな可能性を感じる一年となりました。会員の皆様をはじめ、多くの関係者のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



■ ニコニコBOX

- ・今野…本日も『一年間を振り返って』です。各委員長の皆様大変お疲れ様でした。
- ・長坂…青少年奉仕委員会にご協力下さり誠にありがとうございました。

千葉西ロータリークラブ	総数	本日出席	出席者	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	46名	25名	出席者	欠席	0名	62.50%		7,000円	
	対象者	欠席	欠席	欠席	0名	前々回の出席率		本年度累計	
	40名	15名			0名	100.00%		760,500円	

■ 次週プログラム

6月16日(火)
クラブフォーラム
「委員会活動の一年を振り返って」
12:30点鐘 京成ホテル ミラマール

クラブ広報・ロータリー情報委員会【委員長】川崎美嘉子【副委員長】*中村武弘・佐藤善一【委員】*荏司芳樹・高橋健一郎・足立啓輔・坂本政和